

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

2025年3月期 第2四半期 連結決算の概要

2024年11月7日

連結：増収増益

売上高	33,830百万円(+ 2,582百万円)
営業利益	155百万円(+ 475百万円)

売上： 国内はがん治療領域が堅調に推移したほか、価格転嫁の進展も増収に貢献、海外は血液・細胞領域に続き透析領域が伸長、円貨換算額の増加も加わり増収

利益： 国内外での主力製品の伸長や前期から進める価格転嫁などの増収効果により原材料費や電力費等の高騰影響を吸収し増益

システム別売上高

透析： 薬価改定を受けてプレフィルドシリンジ製剤が増加したほか、北米向けAVF針（血液透析用針）や中国向け血液透析装置が増加

血液・細胞： 主力の成分献血用回路や血液バッグが継続伸長、事業譲受した白血球除去フィルターが加わり増収に寄与

地域別売上高

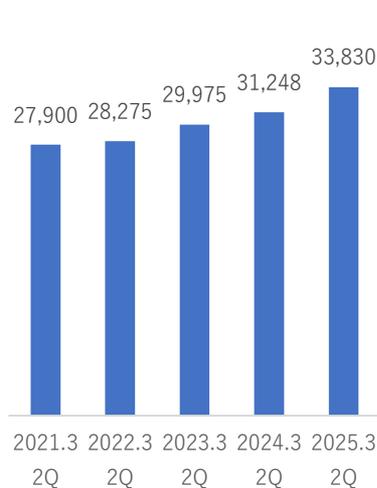
アジア： 中国で血液透析装置やAVF針、白血球除去フィルターが増加

日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムが引き続き堅調に推移、薬価及び診療報酬改定を受けて、プレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品が増加

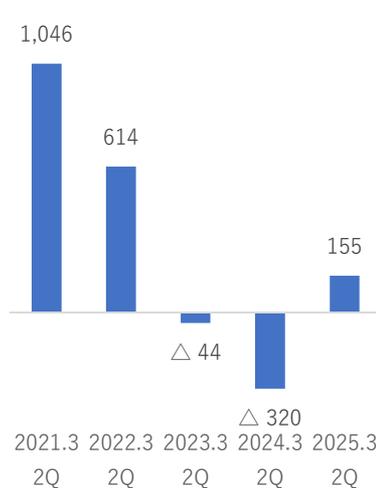
(単位：百万円)

	2024年 3月期 2Q	2025年3月期 2Q		対前期 増減額	対前期 増減率
		公表予想	実績		
売上高	31,248	34,000	33,830	2,582	8.3%
営業利益	△ 320	250	155	475	—
経常利益	△ 135	250	△ 118	16	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 258	100	△ 258	0	—

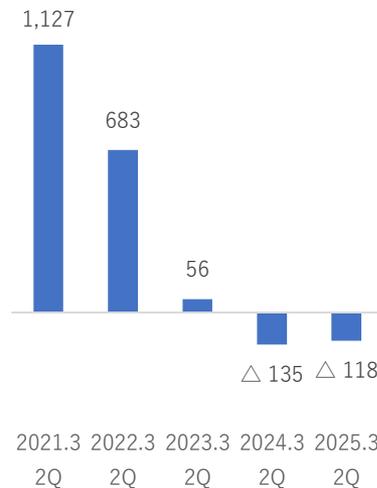
売上高



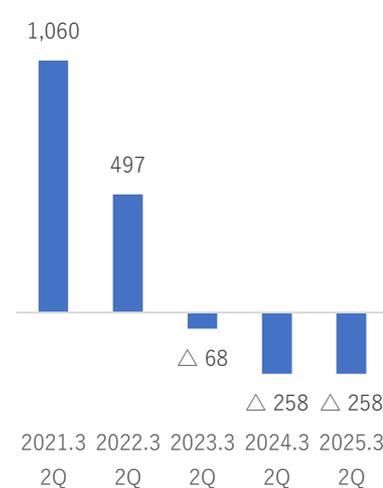
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する
四半期純利益



セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 日本： 薬剤調製・投与クローズドシステムや中国向け血液透析装置のほか、薬価及び診療報酬改定に伴いプレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品が増加、価格転嫁の増収効果も加わり増益
- シンガポール： 主力の成分献血用回路や血液バッグが引き続き増加、増収効果はあるものの、原材料費や運送費の高騰に加え、営業外では為替差損を計上し減益

(単位：百万円)

		2024年 3月期 2Q	2025年 3月期 2Q	増減額	増減率
日本	売上高	20,784	22,253	1,468	7.1%
	利益	△ 101	426	528	—
シンガポール※	売上高	11,008	12,891	1,883	17.1%
	利益	△ 194	△ 418	△ 223	—
中国	売上高	1,859	1,956	97	5.2%
	利益	△ 22	△ 80	△ 58	—
フィリピン	売上高	1,889	1,825	△ 63	△3.4%
	利益	△ 36	△ 144	△ 107	—
ドイツ	売上高	2,024	2,041	16	0.8%
	利益	243	195	△ 48	△19.9%
その他※	売上高	1,880	2,427	546	29.1%
	利益	△ 41	△ 50	△ 8	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。
 ※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイ、中国の一部の現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

輸液・栄養領域



医療用手袋が減少するも、薬剤調製・投与クローズドシステムや、診療報酬改定により摂食嚥下関連用品が増加



売上高

透析領域



薬価改定によりプレフィルドシリンジ製剤が増加したほか、北米向けA V F針や中国向け血液透析装置が増加



売上高

外科治療領域



生産調整や国内需要の減退に伴い人工心肺回路や血液濃縮器、急性血液浄化関連が減少



売上高

血液・細胞領域



成分献血用回路や血液バッグのほか、事業譲受した白血球除去フィルターが貢献

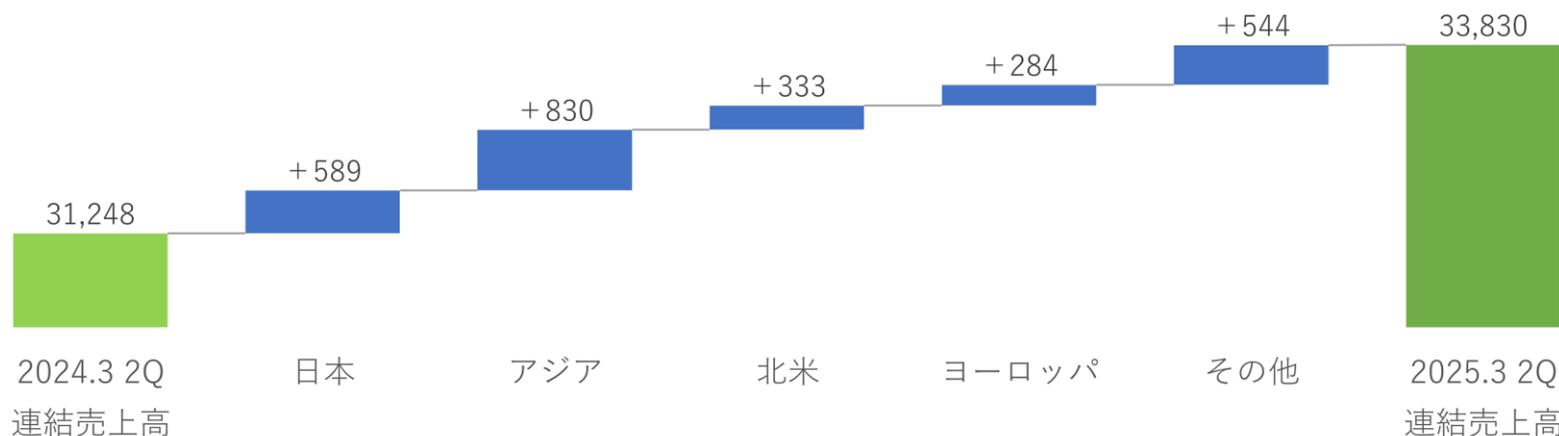


売上高

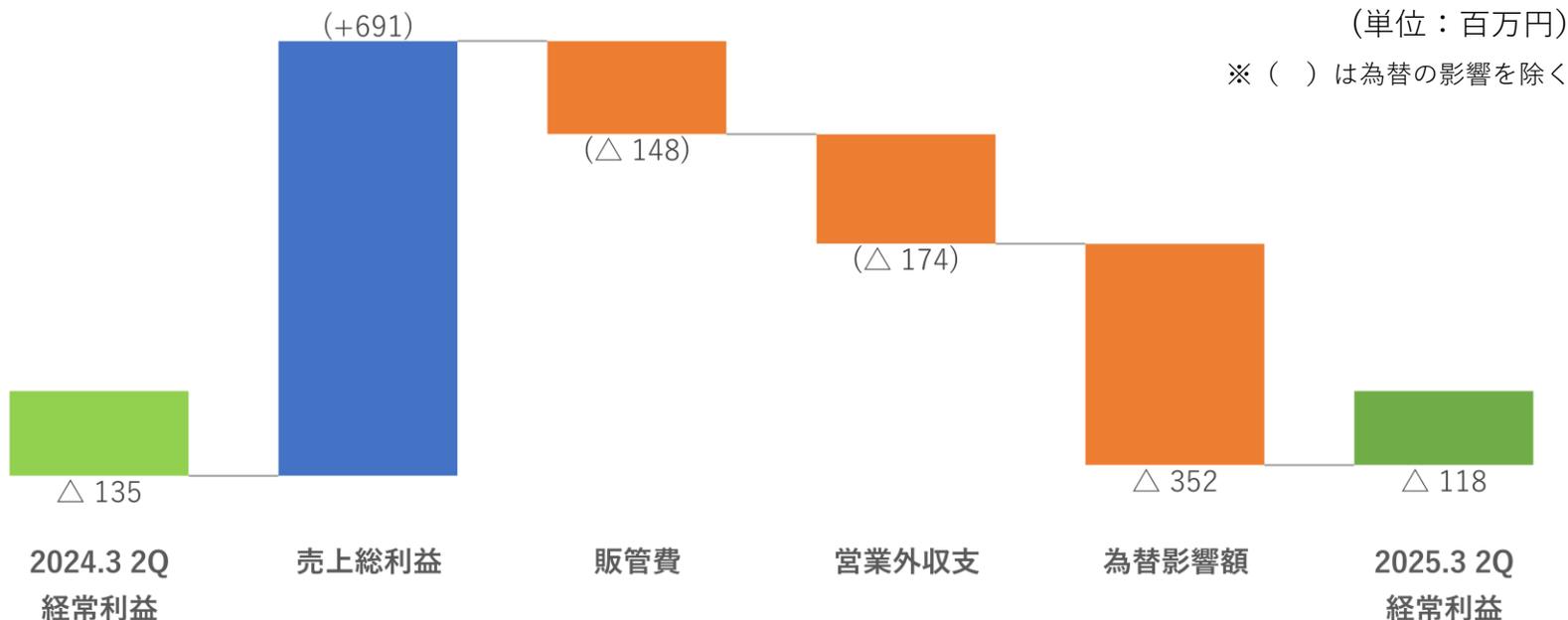
日本は薬剤調製・投与クローズドシステムが堅調に推移、薬価及び診療報酬改定に伴いプレフィルドシリンジ製剤や摂食嚥下関連用品の増加により増収、海外は成分献血用回路や血液バッグが継続伸長、中国市場では血液透析装置の増加に加え、事業譲受した白血球除去フィルターも加わり増収、北米向けA V F針の増加など各地域で増収

(単位：百万円)

	2024年 3月期 2Q	2025年 3月期 2Q	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	18,551	19,141	589	3.2%	56.6%
アジア	5,494	6,325	830	15.1%	18.7%
北米	3,552	3,885	333	9.4%	11.5%
ヨーロッパ	2,948	3,232	284	9.6%	9.6%
その他	700	1,245	544	77.6%	3.7%



原材料費や電力費等の高騰影響を受けるものの、国内外での主力製品の伸長や価格転嫁の進展により売上総利益は増加、人件費など販管費の増加に加え、営業外では為替差損を計上、為替変動は利益不利に作用



為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2024年 3月期 2Q	141.00 円	145.79 円	104.85 円
2025年 3月期 2Q	152.63 円	164.60 円	114.16 円

当第2四半期連結累計期間の実績を踏まえ、前回公表した2025年3月期の通期連結業績予想を修正しました。

(単位：百万円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期		対前期 増減率
		前回予想	今回予想	
売上高	65,292	70,000	70,000	7.2%
営業利益	△268	800	700	—
経常利益	145	800	400	174.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△36	400	100	—

※業績予想の修正にあたっては、前提となる為替レートを、
1米ドル=151円、1ユーロ=163円、1シンガポールドル=115円 としております。

売上： 注力分野の薬剤調製・投与クローズドシステムのほか、海外主力の血液・細胞領域の売上が順調に拡大しており、概ね前回予想通りの売上を見込む

利益： 上期では棚卸資産の廃棄損の計上に加え、為替が大きく不利に働き営業外で為替差損を計上したものの、主力製品の伸長や価格転嫁などの増収効果で利益回復を見込む

2024年10月

体外循環装置用遠心ポンプ駆動装置

「ミクスフローコンソール PC-1」の販売開始

心臓血管外科手術中に体外循環をサポートするための装置を10月に販売開始しました。コンパクトな一体型設計と直感的なタッチパネル操作により、手術室での使いやすさとレイアウトの自由度を向上し、医療従事者の負担を軽減します。



2024年10月

閉鎖式薬剤移注システム「ネオシールド」が

「2024年度グッドデザイン賞」を受賞

抗がん薬を調製・投与・廃棄する際の医療スタッフの曝露リスクを抑えるため、薬液の流路が露出しない独自の閉鎖機構を備えています。また、シンプルで使いやすいデザインにより、安全性と医療現場の負担軽減に貢献する点が高く評価されました。





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。